IV. 保護上重要な野生生物種

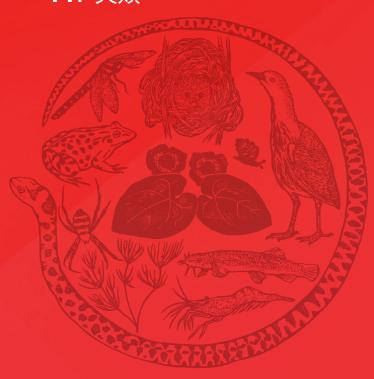
以下の11分類群を対象に、それぞれ以下の内容で構成しています。

総 説:分類群全体で [選定・評価方法の概要] [選定・評価結果の概要] に ついての解説。

種別解説:選定した種ごとに [名称]、[カテゴリー]、[解説]、[分布図]、[写真]、 [執筆者名] 等を 1/3 頁で紹介し(次頁参照)、最後に備考や参考文献、 写真提供者を掲載。

- 1. 植物
- 2. 藻類
- 3. 哺乳類
- 4. 鳥類
- 5. 爬虫類
- 6. 両生類

- 7. 淡水魚類
- 8. 昆虫類
 - 9. 甲殼類
- 10. クモ類
 - 11. 貝類



種別解説の見方

以下に示す❶から⑥の内容で構成し、基本的に1頁当たり3種掲載しています。



●表示例



1名称

以下の名称を記載しています。名称については根拠としている文献を分類群ごとに記載しています。学 名については、命名者等については省略しています。上位の分類群名については分類群で統一して記載しています。



2カテゴリー

環境省第4次レッドリスト(2020年)のカテゴリーを基本として、それに東京都独自のカテゴリーを加えています。

 東京都独自のカテゴリー

 * 留意種

 ランク外

 データなし

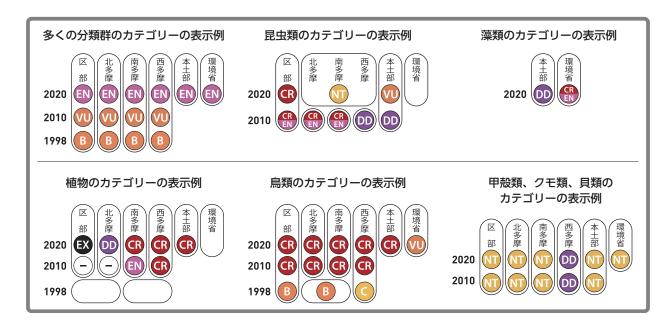
 ・非分布

上から、本土部レッドリスト 2020 見直し版のカテゴリーを [2020]、本土部レッドリスト 2010 (2013 年 5 月 見直し版)を [2010]、レッドリスト 1998 を [1998] としてそれぞれのカテゴリーを表示しています。なお、レッドリスト 1998 のみ、以下に示すカテゴリー評価区分を用いています。

レッドリスト 1998 のカテゴリー

- A 絶滅の危機に瀕している種
- B 絶滅の危機が増大している種
- 生息環境の変化によりAランクや Bランクへの移行が危惧される種
- 野生で絶滅と判断される種
- (地域限定種) 生息域が限定されていたり孤立しており、地域レベルで考慮すると絶滅の危機が増大している種
- (-) 個体数の多い種。比較的普通に見られる種
- (現状不明) 評価に足る情報が得られなかった種

多くの分類群では「区部」、「北多摩」、「南多摩」、「西多摩」と「本土部」、「環境省」(2020年)のカテゴリーを示しています。本土部レッドリスト 2010で「本土部」のカテゴリーが無い分類群では非表示としています。 昆虫類では、地域区分ごとの評価を行うための情報が十分得られないなどの理由から、「区部」と「多摩部」、それを併せた「本土部」の3区分となっています。また藻類は、地域区分は行わず本土部のみの評価となっています。レッドリスト 1998では、植物は区部と北多摩を合わせた「東部」、南多摩と西多摩を合わせた「西部」の2区分に、鳥類は「区部」、北多摩と南多摩を合わせた「北多摩・南多摩」、「西多摩」の3区分となっています。また、甲殻類、クモ類、貝類は評価対象でなかったため、本土部レッドリスト 2010 からの評価を表示しています。



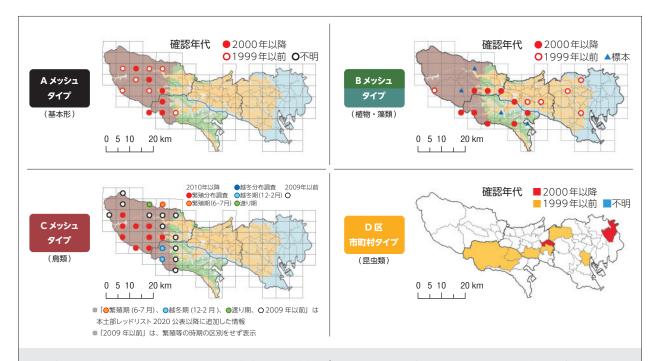
3解説

3つの項目について解説しています。その内容は以下のとおりです。

- ■**種の特性と生育状況**: 形態的特徴や一般的な生態の特性。日本国内における分布概要および東京都本土部における生息状況
- ■生存を脅かす要因:東京都本土部における減少 や絶滅の要因、保全上の留意点や参考情報など。 減少要因項目の解説については9、10頁を参照。
- ■特記事項:上記に書けなかった分類・地理、生態学上の特徴、保全上の留意点、その他必要事項。
- 関連文献 該当種の分類学的・生態学的論文や 生育・生息の記録が掲載されている文献。関連文 献の一覧は各分類群の最後にまとめて掲載し、種 ごとの解説には該当する番号を記載しています。

4分布図

基本形は、3次メッシュの5倍メッシュ(約5km 四方)の表示で、確認年代の凡例表記で、A、B、Cの3タイプに分けています。昆虫類は情報が全体として少ないことから、Dの区市町村区分の表示としましたが、一部の種では掲載していません。淡水魚類の一部の種については、情報不足と保護の視点からEの4地域区分の表示としました。



分布図は、本土部レッドリスト 2020 公表以降に追加した情報も含め、東京都が集積した既存資料を基に作成し、出来る限りの種で掲載しました。種によっては執筆者の方々からご意見やご助言を得て、情報の一部を追加、修正しているものもあります。データの精度が十分でないものも含まれていますので、分布図を引用する場合は、これらの点を踏まえて活用して下さい。

こうした分布図は、一定程度の都内の分布状況をわかりやすく表示できること、次回の改定に向けてより精度の高い分布図を作成する上で有効な情報となることから、今回掲載することにしました。今後は、次の改定に向けてデータの集積を進め、より充実した基礎情報としていきたいと考えています。

5写真

都内で撮影された生態写真を中心とし、標本写真などを掲載しています。また、写真の撮影地域、時期 については可能な範囲で記載しています。写真提供者の一覧を各分類群の末に掲載しています。

6執筆者

種別解説の執筆者名を表示しています。執筆にあたり情報提供等の協力者がいる場合は協力者を表示しています。